

私高研第 2019009 号

2019 年 11 月 22 日

各大学

理事長 殿

学 長 殿

事務局長 殿

ご担当者 殿

日本私立大学協会附置

私学高等教育研究所

所長 福井 直敬

主幹 西井 泰彦

(公 印 省 略)

私立大学の財務及び高等教育政策に関するアンケート調査の実施について (お願い)

拝啓 深秋の候、貴学におかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、当研究所に格別のご高配を賜り、篤く御礼申し上げます。

さて、本研究所では、私立大学の財務及び高等教育政策に関する課題を分析して、私立大学の財務の充実や改善に寄与するための研究活用を進めています。

今春の私立学校法改正や来年度からの国の高等教育の修学支援新制度等によって、私立大学には制度上の見直しや財務健全化の取り組みが迫られています。少子化が進行するなかで、新政策によって、国公私間の格差が更に拡大し、私立大学に厳しい状況が続くことが予想されます。

本調査では、私立大学の教育費用負担について、高等教育研究の専門家を加えた調査と分析を行うことにより、私立大学の経営の安定化と改善への課題を明確にしたいと考えております。

つきましては、ご多忙の折に真に恐縮とは存じますが、別紙アンケートにご協力いただきますように、お願い申し上げます。

敬具

「私立大学の財務及び高等教育政策に関するアンケート調査」実施要項

【趣旨】

高等教育は大きな展開期を迎えています。少子化が進み、18歳人口は平成4年の205万人から現在の118万人へと5割近くに減少しており、進学率は増加しているものの、大学入学者数は今後減少することが予想されています。これまで、各私立大学では、大学教育の魅力アップや大学組織の改編、産学連携や地域との交流など、多面的に改革を進め、不断の経営努力を続けてきました。しかし、学生数の減少による収入の伸び悩みと支出の増大、私学助成の停滞による財政悪化などによって、今後の見通しが立ちづらくなっています。

こうした中、来年度から8,000億円規模と言われる高等教育の修学支援新制度が開始され、また、私立学校法が改正されるなど、私立大学を巡る政策が大きく変化しています。理事会等のガバナンスの見直しや大学教育の成果の可視化が求められ、私立大学は適切に対応していかなばなりません。

本アンケート調査は、こうした一連の高等教育の行財政政策を背景に、私立大学の経営条件について教育費用負担面からの調査・分析を行うことで、厳しい環境下におかれる私立大学の経営課題を整理し、各大学の財務改善につながる方策を提示したいと考えています。

日本私立大学協会附置 私学高等教育研究所

プロジェクト代表

西井 泰彦(私学高等教育研究所主幹)

丸山 文裕(広島大学名誉教授)

プロジェクトメンバー(本研究所研究員・客員研究員・研究協力者)

浦田 広朗(桜美林大学大学院アドミニストレーション研究科 教授)

小林 雅之(桜美林大学総合研究機構 教授)

白川 優治(千葉大学国際教養学部 准教授)

水田 健輔(大正大学地域創生学部 教授)

堺 完(大分大学アドミッションセンター 講師)

宮里 翔大(桜美林大学大学院 博士後期課程)

【調査概要】

1. 調査事項

- 学生募集に影響を与える要因
- 学費の設定方法
- 大学独自の修学支援制度
- 国の修学支援新制度の影響や機関要件の取扱い、他

2. 調査対象

- 全私立大学

3. 調査時期

- 2019年11月～12月

4. 調査結果の公表

本研究調査では、統計的な処理を行い、大学名等の個別情報が含まれないように活用・公表します。また、調査票は厳重に管理し、本プロジェクトでの分析等が終了した時点で廃棄します。調査の報告は、本研究所の web 上で公開するとともに、教育学術新聞のアルカディア学報欄での掲載、本研究所主催の公開研究会や学会発表等における分析結果の公表など、学術研究のみに使用いたします。

5. 調査方法

- アンケート用紙の郵送による回答を行います。同封の封筒を用い、当研究所にご返送ください。

6. 回答期限

- 2019年12月20日（金）

本調査に関するお問い合わせ

下記 E-mail にお問い合わせください。「私立大学財務・高等教育政策の考察プロジェクト」メンバーが回答致します。

E-mail: riihe.project@riihe.jp

私立大学の財務及び高等教育政策に関するアンケート調査

日本私立大学協会附置私学高等教育研究所
 「私立大学財務・高等教育政策の考察」プロジェクト
 代表：西井 泰彦、丸山 文裕（私学高等教育研究所）

I 学生募集の状況について

Q1. 近年の定員管理の厳格化の国の政策（補助金及び認可基準における超過率の引下げ並びに東京都 23 区規制）は、貴学の学生数の増減にどの程度肯定的又は否定的な影響を与えていると考えていますか。それぞれあてはまるものを 1 つずつ選んで○をしてください。

	大きく肯定的な 影響を受ける	やや肯定的な 影響を受ける	特に影響を 受けない	やや否定的な 影響を受ける	大きく否定的な 影響を受ける
定員管理の厳格化	1	2	3	4	5
東京 23 区の定員規制	1	2	3	4	5

Q2. 貴学では、学生募集に肯定的な影響を与えるものとして、どのようなものがありますか。以下の選択肢から影響が強いと思うものを 3 つまで選択して順番に空欄に記入してください。また、選択肢以外に学生募集に影響すると思われるものがあれば、自由記述欄に記入してください。

1 番目に 影響する	2 番目に 影響する	3 番目に 影響する

選択肢：

1. 学部・学科の改組や新設	2. 入学金の値下げ	3. 授業料やその他学納金の値下げ
4. 大学独自の奨学金制度の充実	5. 就職状況の改善	6. 教育内容・教育方法の改善
7. 特許や研究業績の公表	8. 入試制度の多様化	9. オープンキャンパスや高校訪問の充実
10. Web サイトの充実	11. SNS の活用	12. 施設設備の充実
13. キャンパスへのアクセス改善	14. キャンパスの新設・移転	

選択肢以外に影響すると思われるもの（自由記述）

II 学費の設定について *ここでの学費とは、学生から徴収する費用全般を指します。

Q3. 貴学において、授業料及びその他学納金(入学金を除く)は、同一分野・地域等の競合関係にある私立大学と比較して、どのような水準に設定していますか。あてはまるものを 1 つだけ選んで○をしてください。

1. ほとんどの学部・学科で競合校に比べ高い水準にある
2. 一部の学部・学科では競合校に比べ高い水準にあるが、全体的には同等の水準にある
3. ほとんどの学部・学科で競合校と同等の水準にある
4. 一部の学部・学科では競合校に比べ低い水準にあるが、全体的には同等の水準にある
5. ほとんどの学部・学科で競合校に比べ低い水準にある
6. 学部・学科によって競合校に比べ高い水準と低い水準が混在している

Q4. 貴学では、直近の学費改定はいつ頃実施しましたか。該当する年度を西暦で記入してください。
(1 学部のみの方改定の場合も、記入してください。)

西暦 () 年度

Q5. 貴学において、学費を改定する際にどのような方式を取っていますか。あてはまるものを1つだけ選んで○をして、必要があれば括弧内に補足説明してください。

1. 必要な時期に、増減する費目又は増減率を定める方式 ()
2. 一定の連続する期間に亘って一定率を増減させる方式 ()
3. ある程度の期間ごとに増減費目、増減率を定める方式 ()
4. 物価の水準又は公務員等の給与改定に応じて定める方式 ()
5. その他の方式 ()

Q6. 貴学において、学費を改定する期間をどのように設定していますか。あてはまるものを1つだけ選んで○をしてください。

1. 毎年改定している	2. 定期的に () 年に1度) 改定している	3. 特に決まっていない
4. その他 ()		

Q7. 貴学における、直近の学費改定及び改定前の内容と比較してどのようなものでしたか。文系、理系、その他の学部の平均額及び医・歯・薬系の各学部の値上げ・値下げの有無を以下の選択肢から選択して記入してください。変動がない項目については「3. 据え置き」を選択し、該当する学部がない場合には「4. 該当なし」を選択してください。(学部平均額とは、2 学部以上の学費が異なる場合は、足して学部数で割った額とします。)

区 分	文系学部 (学部平均額)	理系学部 (学部平均額)	その他の学部 (学部平均額)	医・歯・薬系の各学部 (学部平均額)		
				医	歯	薬
入学金						
授業料						
その他の学納金						

選択肢：

1. 値上げ	2. 値下げ	3. 据え置き	4. 該当なし
--------	--------	---------	---------

Q8. 貴学では、現在学費の改定を予定していますか。あてはまるもの 1 つだけ選んで○をしてください。「1. 改定を予定している」を選択した場合には、改定予定年度を西暦で記入してください。

1. 改定を予定している (西暦 _____ 年度から実施) ⇒ Q9 へ進んで下さい
2. 改定を検討している (時期は未定) ⇒ Q9 へ進んで下さい
3. 改定の予定はない ⇒ Q10 へ進んで下さい

Q9. <Q8. で「1. 改定を予定している」または「2. 改定を検討している」と答えた方に伺います>
 貴学で予定または検討している学費の改定内容はどのようなものですか。文系、理系、その他の学部の平均額及び医・歯・薬系の各学部の値上げ・値下げの改定予定を以下の選択肢から選択して記入してください。変動がない項目については「3. 据え置き」を選択し、該当する学部がない場合には「4. 該当なし」を選択してください。(学部平均額とは、2学部以上の学費が異なる場合は、足して学部数で割った額とします。)

区 分	文系学部 (学部平均額)	理系学部 (学部平均額)	その他の学部 (学部平均額)	医・歯・薬系の各学部 (学部平均額)		
				医	歯	薬
入学金						
授業料						
その他の学納金						

選択肢：

- | |
|-------------------------------|
| 1. 値上げ 2. 値下げ 3. 据え置き 4. 該当なし |
|-------------------------------|

Q10. <すべての大学に伺います>貴学において、学費の値上げを検討する要因となりうるものは、どのようなものがありますか。以下の選択肢から要因として大きな影響を与えると思うものを 3つまで選択して順番に空欄に記入してください。

1 番目の 要因	2 番目の 要因	3 番目の 要因

選択肢

- | | |
|----------------|----------------------|
| 1. 物価の変動 | 2. 競合関係にある他大学の学費改定 |
| 3. 自大学の財政状況 | 4. 補助金額の変動 |
| 5. 家計所得の変動 | 6. 施設・設備の新設・改修 |
| 7. 消費税の引き上げ | 8. 学生募集の状況 |
| 9. 教職員の人件費額の変動 | 10. 国の高等教育無償化や奨学金の充実 |
| 11. その他 () | |

Q11. <すべての大学に伺います>貴学では、学費の値上げに伴い、新しく奨学支援策を実施する予定はありますか。あてはまると思うものを 3つまで選択して○をしてください。

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. 大学独自の給付型奨学金制度の充実 | 2. 大学独自の貸与型奨学金制度の充実 |
| 3. 日本学生支援機構奨学金の紹介 | 4. その他民間団体等の奨学金の紹介 |
| 5. 銀行などの教育ローン等の紹介 | 6. 授業料の減免・免除 |
| 7. 学費の分納・延納 | 8. その他 () |
| 9. 予定していない | |

Ⅲ 大学独自の授業料減免制度や給付型奨学金について

Q12. 貴学では、独自の取り組みとしてどのような学生への経済的支援（以下、独自の学生支援制度）を実施していますか。あてはまるものすべて選んで○をしてください。

1. 独自の給付型奨学金	2. 独自の貸与型奨学金	3. 入学金の減免	4. 授業料の減免
5. その他学納金の減免	6. その他（	7. 特に取り組んでいない	

Q13. 貴学では、独自の学生支援制度について、今後どのように取り組みたいと考えていますか。あてはまるもの1つだけ選んで○をしてください。

拡充させたい	やや 拡充させたい	特に 変更はしない	やや 縮小させたい	縮小させたい	制度がないので わからない
1	2	3	4	5	6

Q14. 貴学では、高等教育の修学支援新制度（2020年度から実施）の実施を受けて、独自の学生支援制度を今後見直しする予定がありますか。あてはまるもの1つだけ選んで○をしてください。

1. 今年度中に検討を開始する予定である	2. 2020年度に検討を開始する予定である
3. 当面は検討を行う予定がない	4. その他（

Q15. <すべての大学に伺います> 貴学では、独自の学生支援制度の見直しを行う場合、どういった内容を見直しますか。それぞれあてはまるもの1つずつ選んで○をしてください。

	緩和する・ 増加する	見直さない	厳格化する・ 減少する
① 成績要件	1	2	3
② 所得制限	1	2	3
③ 対象人数	1	2	3
④ 支給金額	1	2	3

Q16. <すべての大学に伺います> 貴学では、独自の学生支援制度を拡充させるにあたって、どのような財源を予定していますか。あてはまるものすべて選んで○をしてください。

1. 個人からの寄付金	2. 企業等からの寄付金	3. 同窓会・後援会等からの寄付金
4. 経常費補助金（一般補助）	5. 経常費補助金（特別補助）	6. 地方公共団体の補助金
7. 資産運用等の収益	8. 学費等の改定	9. 学生支援制度以外の支出の抑制
10. 学内の基金等から補填	11. その他（	

Q17. <すべての大学に伺います> 貴学では、オープンキャンパスやホームページ等で、独自の学生支援制度の説明を受験生や保護者、高校等に行っていますか。あてはまるもの1つだけ選んで○をしてください。

とても説明している	少し説明している	あまり説明していない	まったく説明していない
1	2	3	4

Q18. <すべての大学に伺います> 貴学において、学生の経済的支援に関連する事務負担をどのように感じていますか。あてはまるものを1つだけ選んで○をしてください。

負担がとても重い	負担がやや重い	負担はあまり重くない	負担はまったく重くない
1	2	3	4

Q19. <すべての大学に伺います>貴学では、学生の経済的支援に精通した職員を養成する必要がどの程度あると考えていますか。あてはまるものを1つだけ選んで○をしてください。

とても必要である	やや必要である	あまり必要でない	まったく必要でない
1	2	3	4

IV 国の高等教育の修学支援新制度の影響と評価

Q20. 低所得者の進学率上昇を念頭に置いた高等教育の修学支援新制度について、高等教育全体の進学者の増加に寄与すると考えられますか。あてはまるものを1つだけ選んで○をしてください。

とても寄与する	少し寄与する	あまり寄与しない	まったく寄与しない
1	2	3	4

Q21. 高等教育の修学支援新制度によって、進学者の増加が見込まれるのはどの機関だと思いますか。あてはまるものを1つだけ選んで○をしてください。

1. 国立大学	2. 公立大学	3. 私立大学	4. 公立短期大学	5. 私立短期大学
6. 高等専門学校	7. 専門学校	8. その他 ()		

Q22. 貴学では、高等教育の修学支援新制度が導入されることにより、制度の対象となる入学者が増加または減少すると思いますか。あてはまるものを1つだけ選んで○をしてください。

とても増加する	少し増加する	変わらない	少し減少する	とても減少する
1	2	3	4	5

Q23. 貴学では、高等教育の修学支援新制度の対象外である中所得者層以上の入学者は増加または減少すると思いますか。あてはまるものを1つだけ選んで○をしてください。

とても増加する	少し増加する	変わらない	少し減少する	とても減少する
1	2	3	4	5

Q24. 今回の高等教育の修学支援新制度の授業料等減免において、学生が在籍する大学の設置主体（国公立）によって、授業料等の自己負担額が異なります。学生の自己負担のあり方について、どのような内容が望ましいと考えていますか。それぞれあてはまるものを1つずつ選んで○をしてください。

	そう思う	そう思わない	わからない
① 私立大学の自己負担額が低く、国公立大学の自己負担額が高いのが望ましい	1	2	3
② 国公立大学の自己負担額が低く、私立大学の自己負担額が高いのが望ましい	1	2	3
③ 設置主体が異なっても自己負担額は同じにするのが望ましい	1	2	3
④ 設置主体でなく、学部・学科といった専門分野別に自己負担額を変えるのが望ましい	1	2	3
⑤ 大学の所在地によって自己負担額を変えるのが望ましい	1	2	3
⑥ 大学の規模によって自己負担額を変えるのが望ましい	1	2	3

V 高等教育の修学支援新制度の機関要件について

Q25. 貴学では、国の高等教育の修学支援新制度の機関要件を満たすことは、どの程度容易または困難でしたか。それぞれあてはまるものを1つずつ選んで○をしてください。

区 分	とても 難しい	やや 難しい	やや 易しい	とても 易しい
① 実務経験のある教員による授業科目の標準単位数の1割以上の配置	1	2	3	4
② 複数外部人材の理事の任命	1	2	3	4
③ 厳格かつ適正な成績管理の実施：授業計画の作成	1	2	3	4
④ 厳格かつ適正な成績管理の実施：学習成果の評価	1	2	3	4
⑤ 厳格かつ適正な成績管理の実施：成績評価の指標と分布	1	2	3	4
⑥ 厳格かつ適正な成績管理の実施：卒業認定	1	2	3	4
⑦ 財務・経営情報の公表：財務諸表等	1	2	3	4
⑧ 財務・経営情報の公表： 教育活動情報のうち、自己点検評価、3つの方針	1	2	3	4
⑨ 財務・経営情報の公表： 教育活動情報のうち、教員組織、入学者の数及び卒業生数等	1	2	3	4
⑩ 財務・経営情報の公表： 教育活動情報のうち、卒業後の進路（進学／就職）状況	1	2	3	4
⑪ 経営に課題のある大学等でないこと（財政状況、定員充足率）	1	2	3	4

Q26. 貴学では、機関要件の申請に際して、特に問題となった事項にはどのようなものがありましたか。主な事項を上欄 Q25 の区分①～⑪から3つまで選んで、それぞれの問題点や課題を簡単に説明してください。

選択した項目	問題点や課題

アンケートにご協力くださいますて、ありがとうございます。

最後に、貴学の 2014 年度と 2019 年度の情報とご担当者の連絡先等をご記入ください。

① 大学について

大 学 名	
2014 年度	
入学定員：	_____ 人
入学者数：	_____ 人 (2014 年 5 月 1 日時点)
学 部 数：	_____ 学部
2019 年度	
入学定員：	_____ 人
入学者数：	_____ 人 (2019 年 5 月 1 日時点)
学 部 数：	_____ 学部

② ご担当者について

お 名 前	
部 署 名	
役 職	
電 話 番 号	
メールアドレス	

※本アンケート調査の結果は学術研究のみに使用し、調査結果の公表の際には、大学名等の個別情報が含まれないようにいたします。